

宇陀衛生一部事務組合地域
循環型社会形成推進地域計画

宇陀市
曾爾村
御杖村
東吉野村
宇陀衛生一部事務組合

令和元年12月

令和2年12月

令和3年12月

改訂 令和4年12月

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	2
3	施策の内容	4
4	計画のフォローアップと事後評価	7

【様 式】

様式 1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	8
様式 2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	11
参考資料様式 5	施設概要（し尿処理施設系）	12
参考資料様式 7	施設概要（浄化槽系）	13
参考資料様式 8	計画支援概要	18

【添付資料】

添付資料ー 1	対象地域図及び現有処理施設の位置図	19
添付資料ー 2	生活排水処理に関する目標等	20
添付資料ー 3	現有処理施設の概要	21
添付資料ー 4	浄化槽区域図	22
添付資料ー 5	宇陀衛生センター周辺のハザードマップ	24

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町名 宇陀市、曾爾村、御杖村及び東吉野村

面積 506.44 km²

人口 35,048人（平成31年3月31日現在）

（内訳）

項目\市村名	宇陀市	曾爾村	御杖村	東吉野村
面積 (k m ²)	247.50	47.76	79.58	131.60
人口 (人)	30,226	1,446	1,617	1,759

(2) 計画期間

本計画は、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

宇陀衛生一部事務組合地域（以下「本地域」という。）は、奈良県の北東部に位置し、宇陀市、曾爾村、御杖村及び東吉野村により構成する宇陀衛生一部事務組合（以下「本組合」という。）において、し尿等の広域処理を行っている。

本地域の生活排水処理は、宇陀市において公共下水道及び合併処理浄化槽の整備が進められており、曾爾村、御杖村及び東吉野村では合併処理浄化槽の整備が進められている。

また、本地域で発生するし尿及び浄化槽汚泥は、昭和63年3月竣工の「宇陀衛生センター」（し尿処理施設）において処理しているが、稼働後31年が経過しており、施設の経年劣化による老朽化や合併処理浄化槽の普及に伴う浄化槽汚泥混入率の増加等への対応が必要となっている。

生活排水処理については、公共用水域の水質保全を図るため、下水道事業（宇陀市）を推進するとともに、合併処理浄化槽の普及促進を図るものとする。

また、宇陀衛生センターについては、施設の長寿命化及び浄化槽汚泥増加への対応を図るとともに、地球温暖化対策にも積極的に寄与できる施設への転換を図るものとする。

(4) 広域処理の検討状況

本組合は、し尿処理を行うために昭和37年に旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町で設立されたもので、その後、平成14年に曾爾村、御杖村、東吉野村及び旧室生村が加わり、現在の構成市村（平成18年1月1日に旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村が合併し、宇陀市が誕生）となっており、今後も現状の広域処理体制を維持していくこととしている。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水処理の現状

平成 30 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図 1 のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で 35,048 人であり、汚水衛生処理人口（平成 30 年度現在、現に汚水処理施設に接続されている人口、以下同様。）は 24,088 人、汚水衛生処理率 68.7% である。

し尿発生量は 3,506 kℓ/年、浄化槽汚泥発生量は 9,413 kℓ/年であり、処分量（＝収集・運搬量）は 12,919 kℓ/年である。

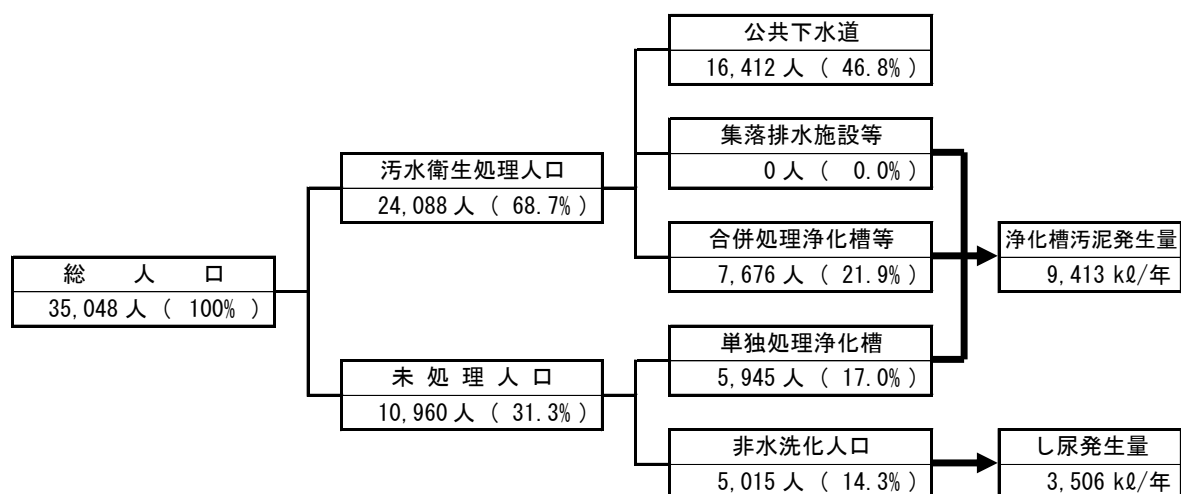


図 1 生活排水の処理状況フロー（平成 30 年度）

(2) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、図 2、表 1、2 に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

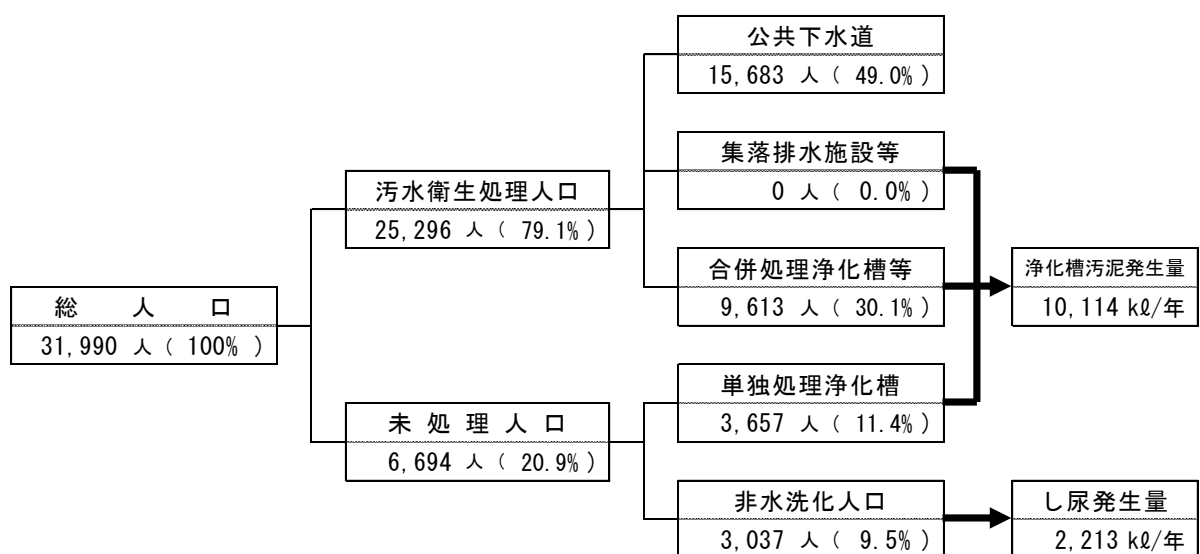


図 2 生活排水の処理状況フロー（令和 7 年度）

表 1 生活排水処理に関する現状と目標

		平成30年度実績	令和7年度目標
処理形態別人口	公共下水道	16,412人 (46.8%)	15,683人 (49.0%)
	農業集落排水施設等	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	7,676人 (21.9%)	9,613人 (30.1%)
	未処理人口	10,960人 (31.3%)	6,694人 (20.9%)
	合計	35,048人	31,990人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,506キロリットル	2,213キロリットル
	浄化槽汚泥量	9,413キロリットル	10,114キロリットル
	合計	12,919キロリットル	12,327キロリットル

表 2 生活排水処理に関する現状と目標 (各市村)

		宇陀市		曾爾村	
		平成30年度実績	令和7年度目標	平成30年度実績	令和7年度目標
処理形態別人口	公共下水道	16,412人 (54.3%)	15,683人 (56.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	農業集落排水施設等	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	4,605人 (15.2%)	6,379人 (23.0%)	929人 (64.2%)	985人 (80.0%)
	未処理人口	9,209人 (30.5%)	5,674人 (20.5%)	517人 (35.8%)	246人 (20.0%)
	合計	30,226人	27,736人	1,446人	1,231人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	2,402キロリットル	1,483キロリットル	108キロリットル	52キロリットル
	浄化槽汚泥量	6,575キロリットル	7,214キロリットル	1,120キロリットル	1,169キロリットル
	合計	8,977キロリットル	8,697キロリットル	1,228キロリットル	1,221キロリットル
		御杖村		東吉野村	
		平成30年度実績	令和7年度目標	平成30年度実績	令和7年度目標
処理形態別人口	公共下水道	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	農業集落排水施設等	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	1,225人 (75.8%)	1,257人 (83.0%)	917人 (52.1%)	992人 (65.8%)
	未処理人口	392人 (24.2%)	258人 (17.0%)	842人 (47.9%)	516人 (34.2%)
	合計	1,617人	1,515人	1,759人	1,508人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	297キロリットル	213キロリットル	699キロリットル	465キロリットル
	浄化槽汚泥量	978キロリットル	997キロリットル	740キロリットル	734キロリットル
	合計	1,275キロリットル	1,210キロリットル	1,439キロリットル	1,199キロリットル

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、生活排水処理に関する情報や制度を住民に広く周知するとともに、広報紙やパンフレットの配布、市村のホームページへの掲載などの啓発活動により、三角コーナーへの水切り袋の設置、廃食油の油固化剤での固化等による汚濁物の生活雑排水への流入防止、洗濯洗剤の無リン洗剤への切り替え、風呂の残り湯の使用などの排出源対策を推進する。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き、公共下水道が整備されていない人口散在地域等で合併処理浄化槽の整備を進めていく。

また、し尿及び浄化槽汚泥等の処理については、宇陀衛生センター（し尿処理施設）が昭和 63 年 4 月の稼動開始から 31 年が経過し、施設の経年劣化による老朽化や合併処理浄化槽の普及に伴う浄化槽汚泥混入率の増加等への対応が必要となっていることから、施設の長寿命化、浄化槽汚泥増加への対応及び CO₂ の排出削減を図るために長寿命化総合計画を策定し、基幹的設備改良事業を実施する。

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

(2) で示した処理体制で処理を行うため、表4のとおり必要な施設整備を行う。

表3 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靱化
1	し尿処理施設 宇陀衛生センター	宇陀衛生センター基幹的設備改良事業	35kℓ/日	宇陀市大宇陀 和田 262	R4~R5	—

(整備理由)

事業番号1 施設の長寿命化、浄化槽汚泥増加への対応、地球温暖化対策

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表5のとおり行う。

表4 合併処理浄化槽の整備計画

事業番号	事業	実施主体	直近の整備済 基数(基) (平成30年度)	整備計画 基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間	国土強靱化
2	浄化槽設置 整備事業	宇陀市	1726	115	345	R2~R6	—
		曾爾村	439	25	75	R2~R6	—
		御杖村	617	18	63	R4~R6	—
3	公共浄化槽等 整備推進事業	曾爾村	0	1	22	R6	—
合計			2782	159	505		

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) アの施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表5 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	宇陀衛生センター基幹的設備改良(事業番号1)に係る発注支援等事業	発注仕様書等作成	R3

(5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業

(3) アの施設整備に先立ち、表7のとおり長寿命化総合計画支援事業を行う。

表6 実施する長寿命化総合計画策定支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	宇陀衛生センター基幹的設備改良（事業番号1）に係る長寿命化総合計画策定事業	長寿命化総合計画策定	R2

(6) その他の施策

その他、本地域で循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 災害時の廃棄物処理に関する事項

組合構成市村の「地域防災計画」を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺自治体との連携体制を構築する。また、日頃から災害時における被害状況の情報収集とその連絡体制及び責任分担等について十分な協議を進めていく。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本地域各市村及び組合は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて本地域各市村、奈良県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間の終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標の達成状況の評価を行う。

また、結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式1

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画 総括表1

1 地域の概要

(1)地域名	宇陀衛生一部事務組合地域	(2)地域内人口	35,048人	(3)地域面積	506.44km ²
(4)構成市町村等名	宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村、宇陀衛生一部事務組合	(5)地域の要件*	人口 (面積) 沖縄 離島 奄美 豪雪 (山村) (半島) (過疎) その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村:宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村 設立されていない場合、今後の見通し:				設立年月日:昭和37年8月8日設立

*交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 年		過去の状況・現状(排出量等に対する割合)						目標
排出量	事業系 総排出量(トン)							
	1事業所当たりの排出量(トン/事業所)							
	生活系 総排出量(トン)							
	1人当たりの排出量(kg/人)							
	合計 事業系生活系の総排出量合計(トン)							
再生利用量	直接資源化量(トン)							
	総資源化量(トン)							
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量 MWH)							
	エネルギー回収量 (年間の熱利用量 GJ)							
最終処分量	埋立最終処分量(トン)							

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

--

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
し尿処理施設	宇陀衛生センター	宇陀衛生一部事務組合	高負荷脱窒素処理 +高度処理	35kℓ/日	S63.2	未定	未定	浸水想定無し	

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設解体の有無 (解体施設の名称)	廃焼却施設解体事業 着手(予定)年月 完了(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
し尿処理施設	宇陀衛生センター	宇陀衛生一部事務組合	高負荷脱窒素処理 +高度処理	35kℓ/日	R6.3	施設の長寿命化 、地球温暖化対策	無	無	浸水想定無し	基幹的設備改良事業

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状					目標
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和7年度
総人口		38,230	37,314	36,579	35,879	35,048	31,990
公共下水道	汚水衛生処理人口	17,136	17,013	16,727	16,601	16,412	15,683
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	44.8%	45.6%	45.7%	46.3%	46.8%	49.0%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0	0	0
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	7,741	7,650	7,610	7,624	7,676	9,613
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	20.2%	20.5%	20.8%	21.2%	21.9%	30.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	13,353	12,651	12,242	11,654	10,960	6,694

※ 参考として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	宇陀市	1,726	4,803	H3	115	345	R7	
	曾爾村	439	929	H2.8	25	75	R7	
	御杖村	617	1,217	H3	18	63	R7	
公共浄化槽等整備推進事業	曾爾村	0	0	—	1	22	R7	

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
			単位		開始	終了	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
○し尿に関する事業							790,295			240,048	550,247		713,305			215,990	497,315		
基幹的設備改良事業	1	宇陀衛生一部事務組合	35	kℓ/日	R4	R5	790,295			240,048	550,247		713,305			215,990	497,315		
○浄化槽に関する事業							72,534	16,406	10,414	12,652	14,194	18,868	72,534	16,406	10,414	12,652	14,194	18,868	
浄化槽設置整備事業	2	宇陀市	115	基	R2	R6	45,150	13,670	7,870	7,870	7,870	7,870	45,150	13,670	7,870	7,870	7,870	7,870	
		曾爾村	25	基	R2	R6	15,996	2,736	2,544	2,544	4,086	4,086	15,996	2,736	2,544	2,544	4,086	4,086	
		御杖村	18	基	R4	R6	6,714			2,238	2,238	2,238	6,714			2,238	2,238	2,238	
公共浄化槽等整備推進事業	3	曾爾村	1	基	R6	R6	4,674					4,674	4,674					4,674	
○施設整備に関する計画支援事業							9,911		9,911				9,911		9,911				
宇陀衛生センター基幹的設備改良(事業番号1)に係る発注支援等事業	1	宇陀衛生一部事務組合			R3	R3	9,911		9,911				9,911		9,911				
○廃棄物処理施設における長寿命化計画策定支援事業							5,049	5,049					5,049	5,049					
宇陀衛生センター基幹的設備改良(事業番号1)に係る長寿命化総合計画策定事業	1	宇陀衛生一部事務組合			R2	R2	5,049	5,049					5,049	5,049					
合計							877,789	21,455	20,325	252,700	564,441	18,868	800,799	21,455	20,325	228,642	511,509	18,868	

【宇陀衛生一部事務組合 構成市村名 : 宇陀市・曾爾村・御杖村・東吉野村】

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	宇陀衛生一部事務組合
(2) 施設名称	宇陀衛生センター
(3) 工 期	令和4年度 ～ 令和5年度
(4) 施設規模	処理能力 35kℓ/日
(5) 形式及び処理方式	高負荷脱窒素処理＋高度処理
(6) 地域計画内の役割 ※1	施設の長寿命化、CO ₂ の排出量を3%以上削減
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	
(9) 資源化物の利用計画	

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び 面積	
(11) 計画地域の性格	

(12) 総事業計画額 ※2	790,295 千円 うち、交付対象事業費 713,305 千円
----------------	-------------------------------------

※1 基幹的設備改修事業を実施する場合は、二酸化炭素の削減率を記載すること。また、二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用する場合は、廃棄物処理施設で生じた熱や発電した電力を地域でどう利活用するかについても記載すること。

※2 事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の金額を記載し、全体の金額を括弧書きすること。

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	宇陀市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上等を図るため、下水道事業計画区域以外の区域であって、集落排水処理施設整備事業の計画及びコミュニティプラント設置整備計画のない区域を対象に、50人槽以下の浄化槽を設置しようとする者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和2年度～令和6年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 <input type="checkbox"/> 面積 <input type="checkbox"/> 沖縄 離島 奄美 豪雪、 <input type="checkbox"/> 山村 <input type="checkbox"/> 半島 <input type="checkbox"/> 過疎 <input type="checkbox"/> その他 該当する対象地域を選択する。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 45,150千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (345人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	30基 (90人分)	9,960千円	9,960千円	9,960千円
6～7人槽	85基 (255人分)	35,190千円	35,190千円	35,190千円
8～10人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
11～20人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
21～30人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
31～50人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
51人槽以上	基 (人分)	千円	千円	千円
宅内配管費	基			
撤去費	基			
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合計	115基 (345人分) ※基数の合計には、宅内配管費、 撤去費、改築費を除く。	45,150千円	45,150千円	45,150千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	曾爾村
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、村内において50人槽以下の浄化槽を設置しようとする者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和2年度～令和6年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 <input type="checkbox"/> 面積 <input type="checkbox"/> 沖縄 離島 奄美 豪雪、 <input type="checkbox"/> 山村 <input type="checkbox"/> 半島 <input type="checkbox"/> 過疎 その他 該当する対象地域を選択する。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 15,996千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 13,260千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (75人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	10基 (30人分)	3,864千円	3,864千円	3,864千円
6～7人槽	15基 (45人分)	7,002千円	7,002千円	7,002千円
8～10人槽	基 (人分)			
11～20人槽	基 (人分)			
21～30人槽	基 (人分)			
31～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
宅内配管費	13基	3,900千円	3,900千円	3,900千円
撤去費	13基	1,230千円	1,230千円	1,230千円
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適 正化推進費			
合計	25基 (75人分) ※基数の合計には、 宅内配管費、撤去費、 改築費を除く。	15,996千円	15,996千円	15,996千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	曾爾村
(2) 事業名称	公共浄化槽等整備推進事業
(3) 事業の実施目的及び内容	村が所有する公的施設の単独処理浄化槽について、整備計画期間中に計画的に合併処理浄化槽に転換する。
(4) 事業期間	令和6年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 <input type="checkbox"/> 面積 <input type="checkbox"/> 沖縄 離島 奄美 豪雪、 <input type="checkbox"/> 山村 <input type="checkbox"/> 半島 <input type="checkbox"/> 過疎 その他 該当する対象地域を選択する。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 4,674千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 4,674千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 4,674千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)			
6～7人槽	基 (人分)			
8～10人槽	基 (人分)			
11～20人槽	基 (人分)			
21～30人槽	基 (人分)			
31～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
宅内配管費		基		
撤去費		基		
改築費(災害)		基		
改築費(長寿命化)		基		
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合計	基 (人分) ※基数の合計には、宅内配管費、 撤去費、改築費を除く。			

【公共浄化槽等整備推進事業の場合】

区分	交付対象基数 (22 人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)			
6～7人槽	基 (人分)			
8～10人槽	基 (人分)			
11～15人槽	基 (人分)			
16～20人槽	基 (人分)			
21～25人槽	1 基 (22 人分)	4,140千円	4,140千円	4,140千円
26～30人槽	1 基 (人分)			
31～40人槽	基 (人分)			
41～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
共同浄化槽	人槽 基 (戸数)			
宅内配管費	1 基	300千円	300千円	300千円
撤去費	1 基	90千円	90千円	90千円
改築費(災害)	基			
改築費(長寿命化)	基			
事務費		144千円	144千円	144千円
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	調査費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合 計	1 基 (22 人分) ※基数の合計には、宅内配管費、 撤去費、改築費を除く。	4,674千円	4,674千円	4,674千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 奈良県

(1) 事業主体名	御杖村
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、村内において50人槽以下の浄化槽を設置しようとする者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。
(4) 事業期間	令和4年度～令和6年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪、山村 半島 過疎 その他 該当する対象地域を選択する。
(6) 事業計画額	交付対象事業費 6,714千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (63人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	9基 (27人分)	2,988千円	2,988千円	2,988千円
6～7人槽	9基 (36人分)	3,726千円	3,726千円	3,726千円
8～10人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
11～20人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
21～30人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
31～50人槽	基 (人分)	千円	千円	千円
51人槽以上	基 (人分)	千円	千円	千円
宅内配管費	基			
撤去費	基			
改築費（災害）	基			
改築費（長寿命化）	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費			
合計	18基 (63人分) ※基数の合計には、宅内配管費、 撤去費、改築費を除く。	6,714千円	6,714千円	6,714千円

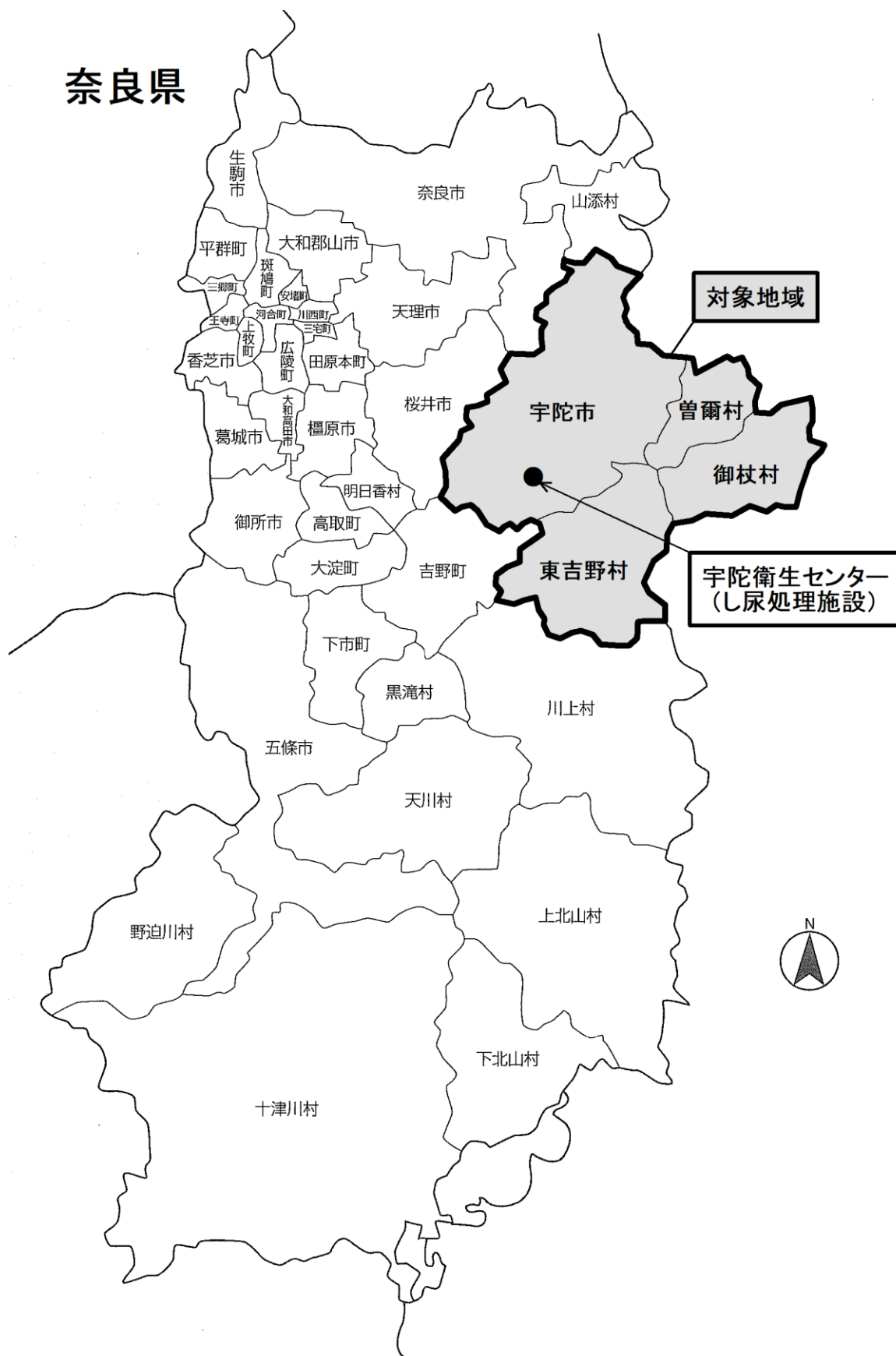
計 画 支 援 概 要

都道府県名 奈良県

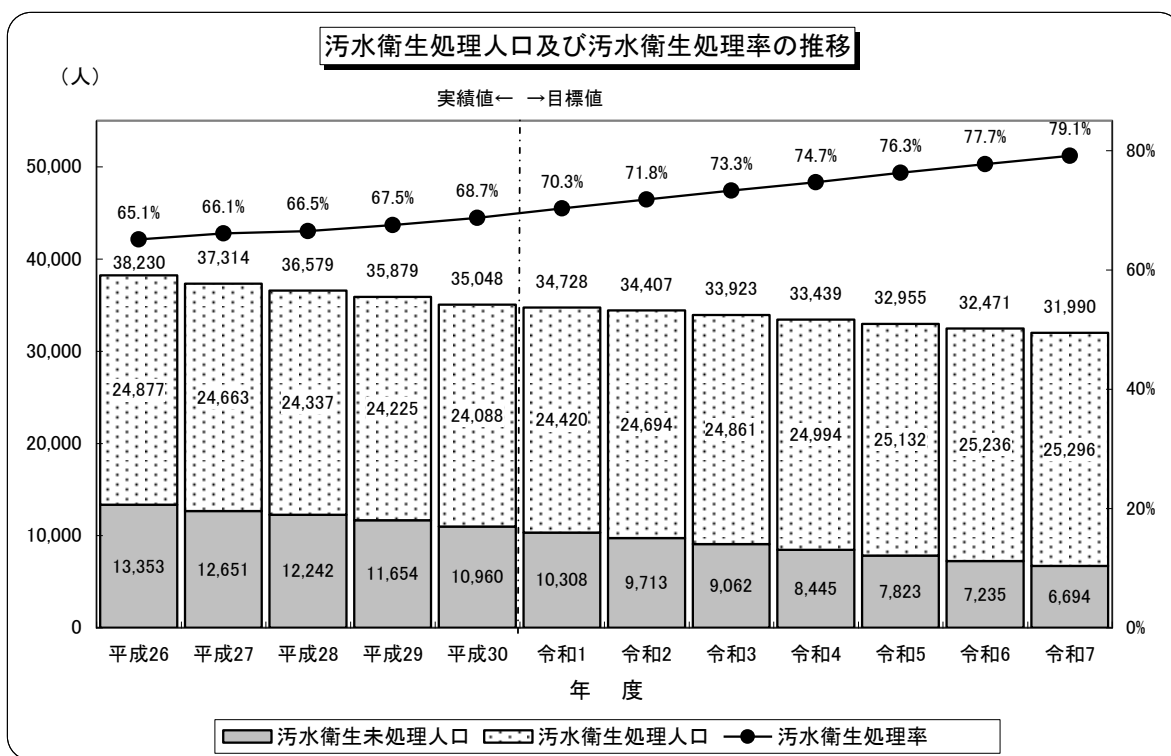
(1) 事業主体名	宇陀衛生一部事務組合	
(2) 事業目的	し尿処理施設の基幹的設備改良のため	
(3) 事業名称	宇陀衛生センター基幹的設備改良に係る長寿命化総合計画策定事業	宇陀衛生センター基幹的設備改良に係る発注支援等事業
(4) 事業期間	令和2年度	令和3年度
(5) 事業概要	(事業番号1)に係る 長寿命化総合計画策定事業	(事業番号1)に係る 発注支援等事業
(6) 総事業計画額 ※1	5,049 千円 うち、交付対象事業費 5,049 千円	9,911 千円 うち、交付対象事業費 9,911 千円

※1 事業が複数の地域計画にまたがる場合、本地域計画期間内の金額を記載し、全体の金額を括弧書きすること。

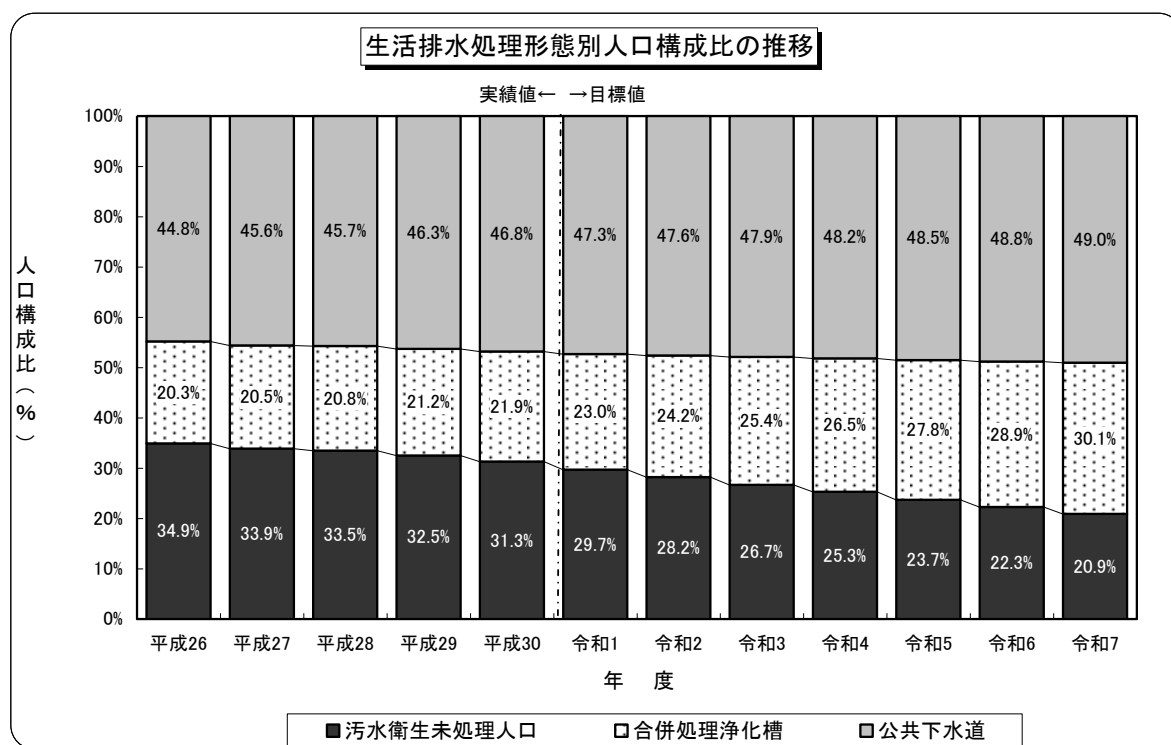
添付資料－1 対象地域図及び現有処理施設の位置図



添付資料－２ 生活排水処理に関する目標等



注) 汚水衛生処理人口: 公共下水道人口 + 合併処理浄化槽人口
 汚水衛生未処理人口: 単独処理浄化槽人口 + 非水洗化人口
 汚水衛生処理率: 汚水衛生処理人口 ÷ 総人口



添付資料－3 現有処理施設の概要

施設名称	宇陀衛生センター
設置主体	宇陀衛生一部事務組合
所在地	奈良県宇陀市大宇陀和田262
竣工年月	昭和63年3月
処理能力	35 kℓ/日（し尿30kℓ/日、浄化槽汚泥5kℓ/日）
処理方式	高負荷脱窒素処理＋砂ろ過＋活性炭吸着
汚泥処理	脱水＋乾燥＋焼却
放流先	四郷川

